

# CSポートフォリオ (標準版) 作成・活用の手引き

※本資料では、法律（地教行法第47条の5）に基づいて教育委員会が学校に設置する学校運営協議会  
および学校運営協議会が置かれた学校をコミュニティ・スクール（以下、CS）と表記しています。

Ver. 1（令和5年3月版）



# 目次

I.	CSポートフォリオ（標準版）の構造	・ ・ ・ ・ 2
II.	アンケート調査の実施	・ ・ ・ ・ 9
III.	CSポートフォリオの作成	・ ・ ・ ・ 15
IV.	CSポートフォリオの完成	・ ・ ・ ・ 21
V.	結果の読み取り方	・ ・ ・ ・ 28
VI.	読み取りのワーク①	・ ・ ・ ・ 32
VII.	読み取りのワーク②	・ ・ ・ ・ 36
VIII.	おわりに	・ ・ ・ ・ 41

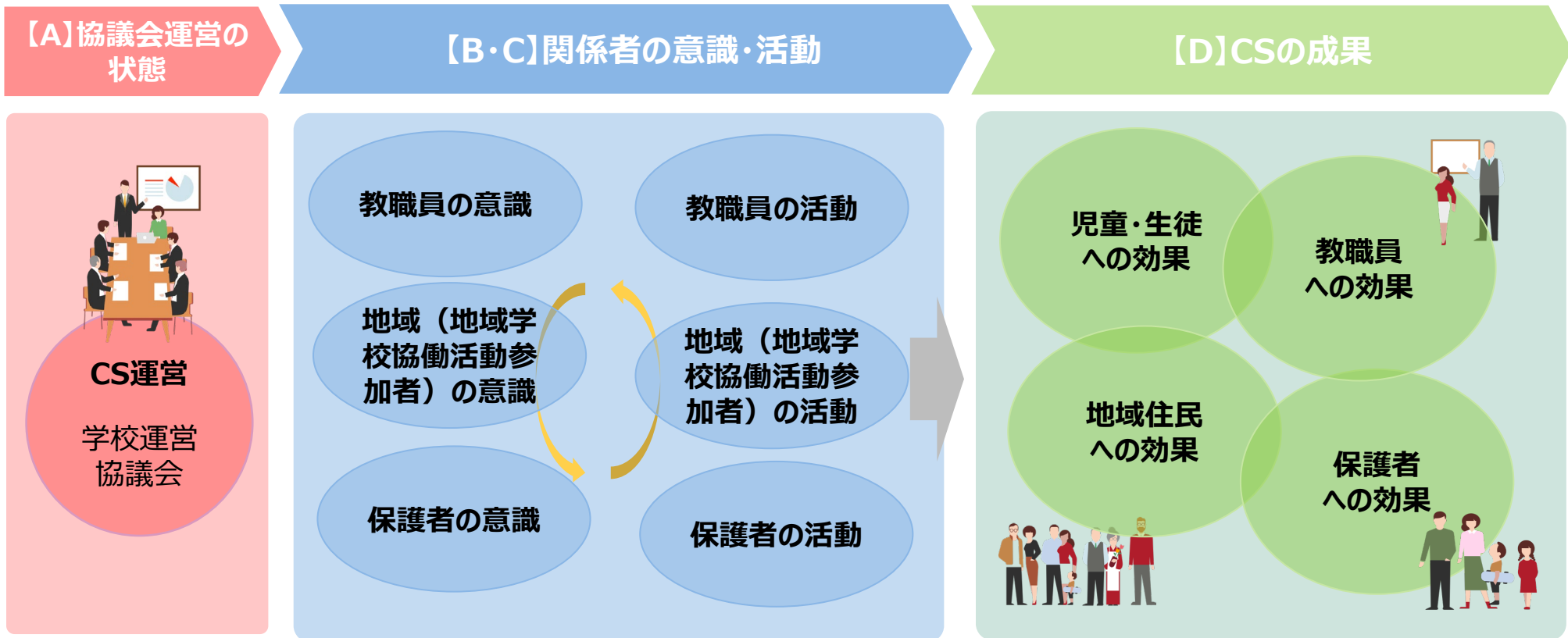


# CSポートフォリオ (標準版) の構造



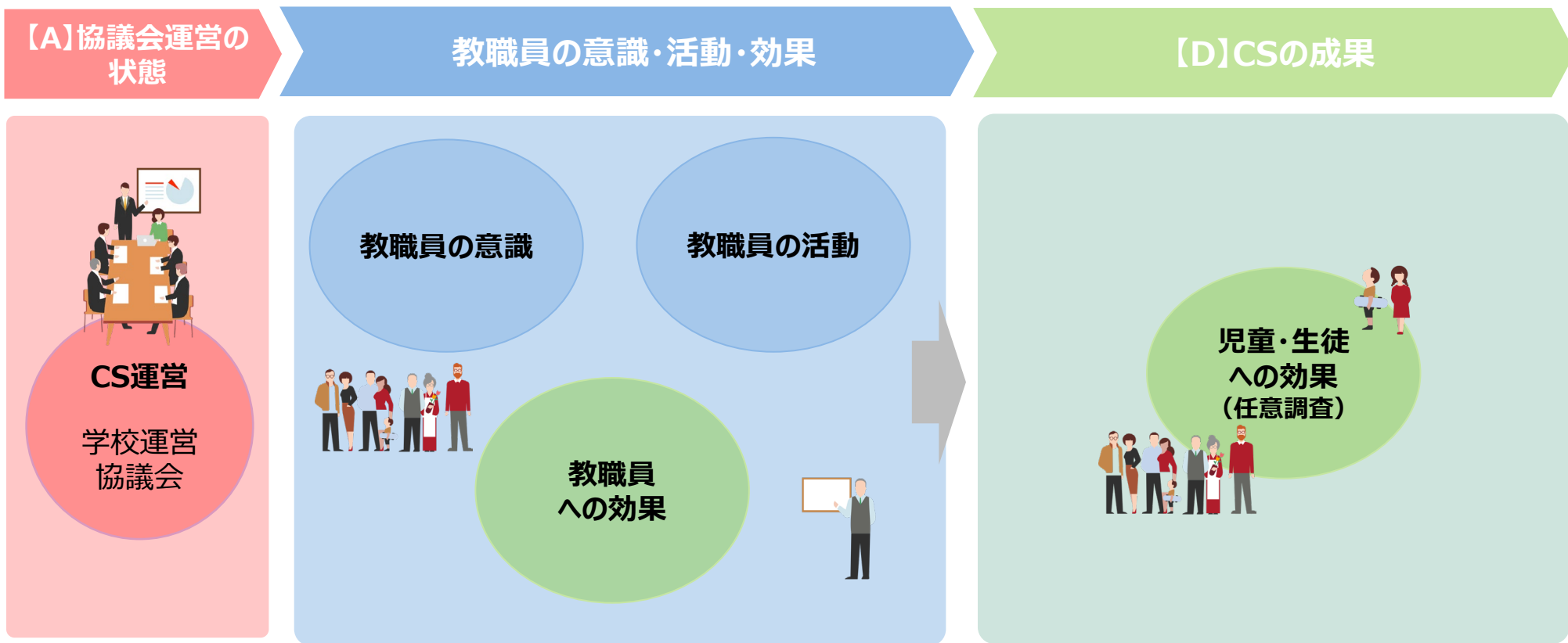
# CSの成果発現までの構造化（全体像）

- ✓ CSで期待される多様な成果・目標（D）に関する指標として「関係者の意識・活動」（B・C）を位置づけ、また、それらと関係する「協議会運営の状態」（A）を明確化



# CSの成果発現までの構造化（標準版の構造）

- ✓ 全体うち、主に学校内（教職員）への成果発現の要素を組み込んだのが標準版  
→まずはCSで期待される教職員への成果改善に向けた「次なる一手」の手がかりが得られる



【計6項目27指標】

【計8項目27指標】

【計7項目22指標】

# アンケート調査の構造

- ✓ 先の構造に基づいて設定した指標について、CS関係者（協議会委員、教職員、児童・生徒(任意)）に対するアンケート調査を行います。

**3**つの主体 × **3**つの要素 でアンケート項目を構成しています。

	協議会委員	教職員	児童・生徒（任意）
CSの効果	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力の向上</li> <li>・生徒指導・生活指導の負担の減少</li> <li>・保護者・地域住民への信頼の高まり</li> <li>・保護者対応の負担の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが享受する機会の変化</li> <li>・資質・能力の向上</li> <li>・地域への愛着・貢献意識の向上</li> </ul>
関係者の意識・活動	—	<p><b>意識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の意義の理解</li> </ul> <p><b>活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民・保護者との交流</li> <li>・授業における地域・保護者との連携</li> <li>・生徒指導・生活指導における地域・保護者との連携</li> </ul>	—
協議会運営の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律性</li> <li>・対等性</li> <li>・持続性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熟議度</li> <li>・実行性</li> <li>・共有性</li> </ul>	—



# 【参考】アンケート調査の構成要素

✓ 「協議会の運営」指標は、以下の6つの要素にて構成されています。

## 自律性

### 【構成要素】

- ・法定3権限の有無
- ・法定3権限の適切な運用

(法定3権限を有しているか等、協議会として自律的に議論する機能があるかを測る指標です)

## 熟議度

### 【構成要素】

- ・企画段階からの協議
- ・見直しが許容される協議
- ・内省・評価の実施・反映

(議題の確認や承認だけではなく、時に見直しを行うなど、深い議論ができているかを測る指標です)

## 対等性

### 【構成要素】

- ・関係主体の関係性
- ・議論の対等性

(協議会参加者の中で、対等な議論ができているかを測る指標です)

## 実行性

### 【構成要素】

- ・学校長の主導的役割
- ・実行を見据えた役割分担
- ・教職員との協力・連携

(協議会で決まったことが、実行までつながっているかを測る指標です)

## 持続性

### 【構成要素】

- ・協議会の目的・目標の共有
- ・持続的な議論体制

(教職員の異動に関わらず、持続的に議論ができる体制になっているかを測る指標です)

## 共有性

### 【構成要素】

- ・多様な主体の巻き込み
- ・情報の共有
- ・協議会からの情報発信

(協議会の協議事項が、周知・共有されているかを測る指標です)



## 【参考】アンケート調査の構成要素

✓ 「教職員の意識・活動・成果」に関する指標は、以下に示す要素にて構成されています。



### 【構成要素】

- ・ 協議会の意義の理解



### 【構成要素】

- ・ 授業における地域住民・保護者との連携
- ・ 授業力の向上



### 【構成要素】

- ・ 地域住民・保護者との交流
- ・ 保護者・地域住民への信頼の高まり
- ・ 保護者対応の負担減少



### 【構成要素】

- ・ 生徒指導・生活指導における地域・保護者との連携
- ・ 生徒指導・生活指導の負担の減少





## 【参考】アンケート調査の構成要素

✓ 「CSの効果」指標のうち、子どもへの効果（任意調査）は、以下に示す要素にて構成されています。



### 子どもへの効果

#### 【構成要素】

##### <子供が享受する機会の変化>

- ・ 地域における大人との関わり
- ・ 地域における異年齢の関わり

##### <資質・能力の向上>

- ・ 自己肯定感
- ・ やり抜く力
- ・ 学習意欲

##### <地域への愛着・貢献意識の向上>

- ・ 地域への愛着の高まり
- ・ 地域貢献意識の高まり



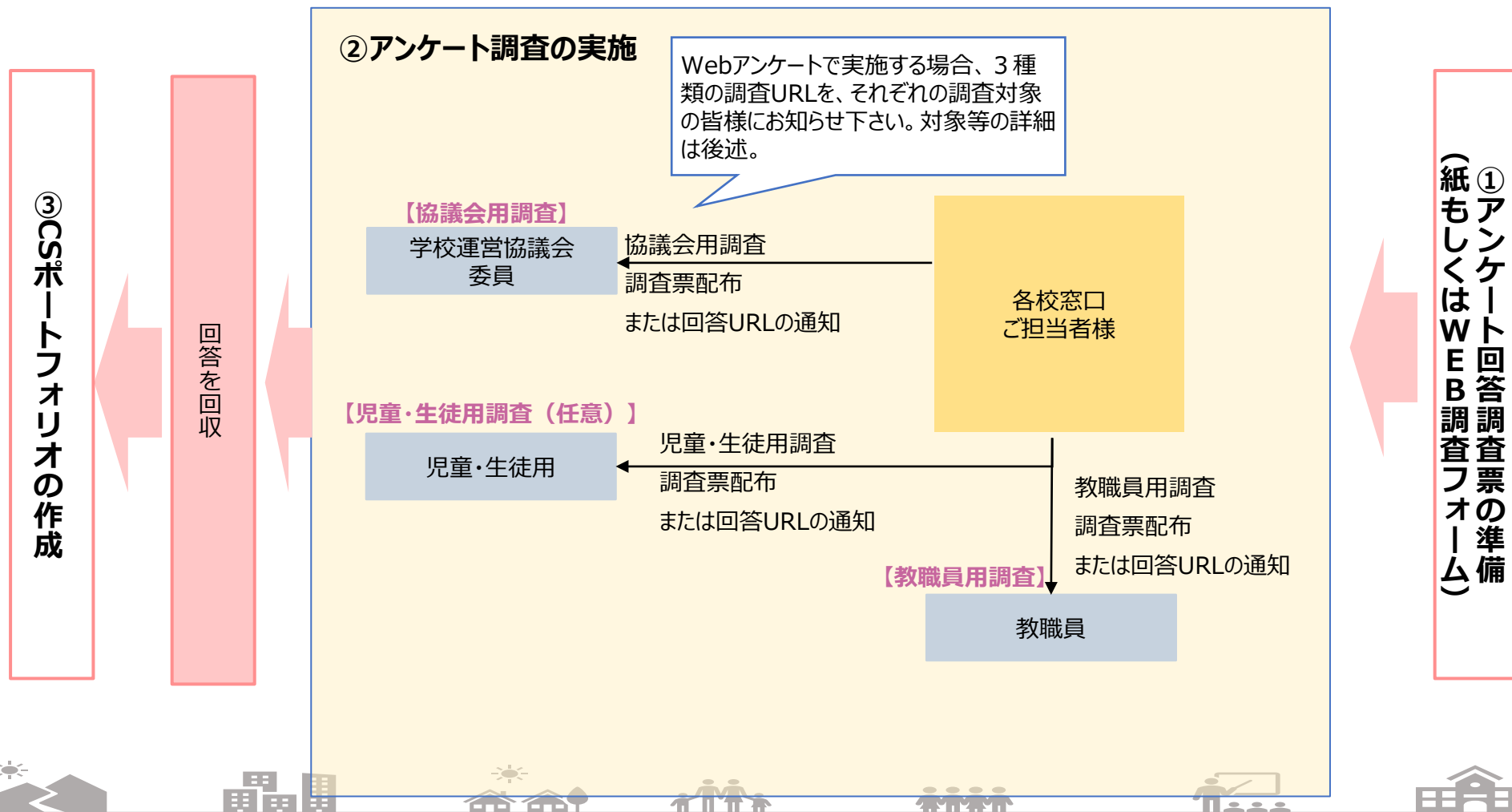
# アンケート調査の実施



# CSポートフォリオ（標準版）作成までの全体像

## ☑ 調査票、またはwebフォームを使用したアンケート実施

→本アンケート調査及びCSポートフォリオを継続的かつローコストに活用いただくため、Webアンケート（GoogleフォームやマイクロソフトForms等）の方法を推奨しています。以降で下図①～②について説明します。



# ① アンケート回答調査票の準備：紙の調査票で実施する場合

- ✓ 調査票（ワードファイル）を印刷・配布いただくことで、紙の調査票によるアンケートの実施も可能です。
- ✓ 回収した調査票の内容をCSポートフォリオファイルへ直接入力いただくことが必要になります。

## <調査票イメージ：協議会用>

学校運営協議会に関するアンケート（標準版）  
【協議会用質問用紙】

・この度は、アンケート調査へのご協力、誠にありがとうございます。  
・このアンケートは、学校運営の状況やコミュニティ・スクール導入の効果を測るために実施するものです。

質問 1 はじめに、あなたが学校運営協議会委員として関わる学校名を教えてください。

回答番号	回答欄
1	( ) 小学校・中学校

質問 2 あなたの参加する学校運営協議会について、次のことがどれだけ当てはまりますか。

回答番号		選択肢（それぞれ1つを選ぶ）			
		あてはまらない	どちらかといえばあてはまらない	どちらかといえばあてはまる	あてはまる
2	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	1	2	3	4
3	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある	1	2	3	4
4	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある	1	2	3	4
5	教職員は、協議会からの意見を重視し、それをふまえた学校運営を行っている	1	2	3	4
6	協議会やその構成メンバーにも、よりよい学校づくりをすすめる自覚がある	1	2	3	4
7	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある	1	2	3	4
8	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある	1	2	3	4
9	議論は、特定の人の意見に左右されることはない	1	2	3	4
10	協議会内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある	1	2	3	4
11	学校運営協議会の役割や運営について、委員全員で確認し合っている	1	2	3	4
12	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている	1	2	3	4
13	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある	1	2	3	4
14	学校運営協議会の運営方針・方法について、振り返り・見直しを行う機会がある	1	2	3	4
15	協議会で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある	1	2	3	4
16	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある	1	2	3	4

回答番号		選択肢（それぞれ1つを選ぶ）			
		あてはまらない	どちらかといえばあてはまらない	どちらかといえばあてはまる	あてはまる
17	当初の議案が、議論によって変更・改善されることがある	1	2	3	4
18	協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある	1	2	3	4
19	学校評価などの各種の評価結果を活かした改善について、議論が行われている	1	2	3	4
20	学校長の主導で、協議会の内容が有意義になったと感じることがある	1	2	3	4
21	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている	1	2	3	4
22	議論の結果、各主体（学校・保護者・地域の大人等）が実行すべきこと・役割分担が明確になっている	1	2	3	4
23	協議会で議論した活動に自ら参加したり、活動の一部を担ったりすることがある	1	2	3	4
24	協議された事項の実行にあたり、教職員は期待される役割を果たしている	1	2	3	4
25	地域住民や保護者は、誰が協議会委員になっているか知っている	1	2	3	4
26	学校教育目標や学校運営の基本方針が確認しやすい形で共有されており、内容は理解している	1	2	3	4
27	学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている	1	2	3	4
28	協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている	1	2	3	4

～ 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました ～



# ①アンケート回答調査票の準備：WEBフォームで実施する場合

- ✓ 調査票をもとに、WEBのアンケートフォームを作成いただくことによるアンケートの実施も可能です。
- ✓ 回収した調査データをCSポートフォリオファイルへ転記いただくことが必要になります。

## <WEB調査フォームイメージ (google フォームの場合) >

質問2 あなたの学校や地域の教育活動に対するお考えについて、次のことはどれだけあてはまりますか。

1 (あてはまらない)、2 (どちらかといえばあてはまらない)、3 (どちらかといえばあてはまる)、4 (あてはまる) の4段階から1つを選んでください。

3 子どもは、学校や保護者、地域住民と一緒に育てていくものだ

	1	2	3	4	
あてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	あてはまる
選択を解除					

4 保護者や地域住民が学校運営に関わることは必要なことだ

	1	2	3	4	
あてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	あてはまる
選択を解除					



## ②アンケート調査の実施

- ✓ 以下の調査対象に基づき、調査対象者に調査を依頼してください。
- ✓ 回答期間としては、2週間程度を想定していますが、各校の状況に応じてご設定ください。
- ✓ 紙の調査票で実施する場合、調査対象者に調査票を直接配布してください。
- ✓ WEB調査フォームで実施する場合、調査画面URLを調査対象者にご共有ください。

### <調査対象者>

種類	調査の内容と想定調査対象者
■協議会用	学校運営協議会の状態や委員の意識、活動を問う調査票です。 <u>学校運営協議会の全委員</u> がご回答ください。
■児童・生徒用 (任意)	貴校の児童・生徒の意識、活動を問う調査票です。高学年向けのため、小学校5年生以上の方に回答いただくことを推奨します。  加えて、学校における取組を尋ねる設問があるため、中学1年生の回答は推奨していません。  ※本調査は重点診断版において【任意】となりますので、ご関心とご負担に応じ各校で実施可否をご判断ください。
■教職員用	貴校の教職員の意識、活動を問う調査票です。貴校の <u>全教職員</u> がご回答ください。



## ②アンケート調査の実施：【参考】アンケート回答URLの展開

- ✓ 以下の調査対象に基づき、調査対象者に調査を依頼してください。
- ✓ 紙の調査票で実施する場合、調査対象者に調査票を直接配布してください。
- ✓ WEB調査フォームで実施する場合、調査画面URLを調査対象者にご共有ください。

### <WEB調査フォーム共有のイメージ (google フォームの場合) >

The screenshot shows a Google Forms sharing dialog box titled "フォームを送信" (Send form). The dialog has a close button (X) in the top right. It includes a checkbox for "メールアドレスを収集する" (Collect email addresses), which is currently unchecked. Below this, there are options for "送信方法" (Send method): "メール" (Email), "リンク" (Link), and "QRコード" (QR code). The "メール" option is selected. The "送信先" (Send to) field is empty. The "件名" (Subject) field contains "学校・地域・家庭での生活に関するアンケート【保護者用】". The "メッセージ" (Message) field contains "次のフォームにご記入ください:" (Please fill out the following form:). There is another unchecked checkbox for "フォームをメールに含める" (Include form in email). At the bottom, there are buttons for "共同編集者を追加" (Add collaborators), "キャンセル" (Cancel), and "送信" (Send).

ここにメールアドレスを記入して「送信」すれば、回答者へURLを送付できます。URLをコピーして、別途送付する方法でも構いません。

作成したフォームを開き、「送信」をクリックすると、左のような小窓が出てきます。

# CSポートフォリオの作成

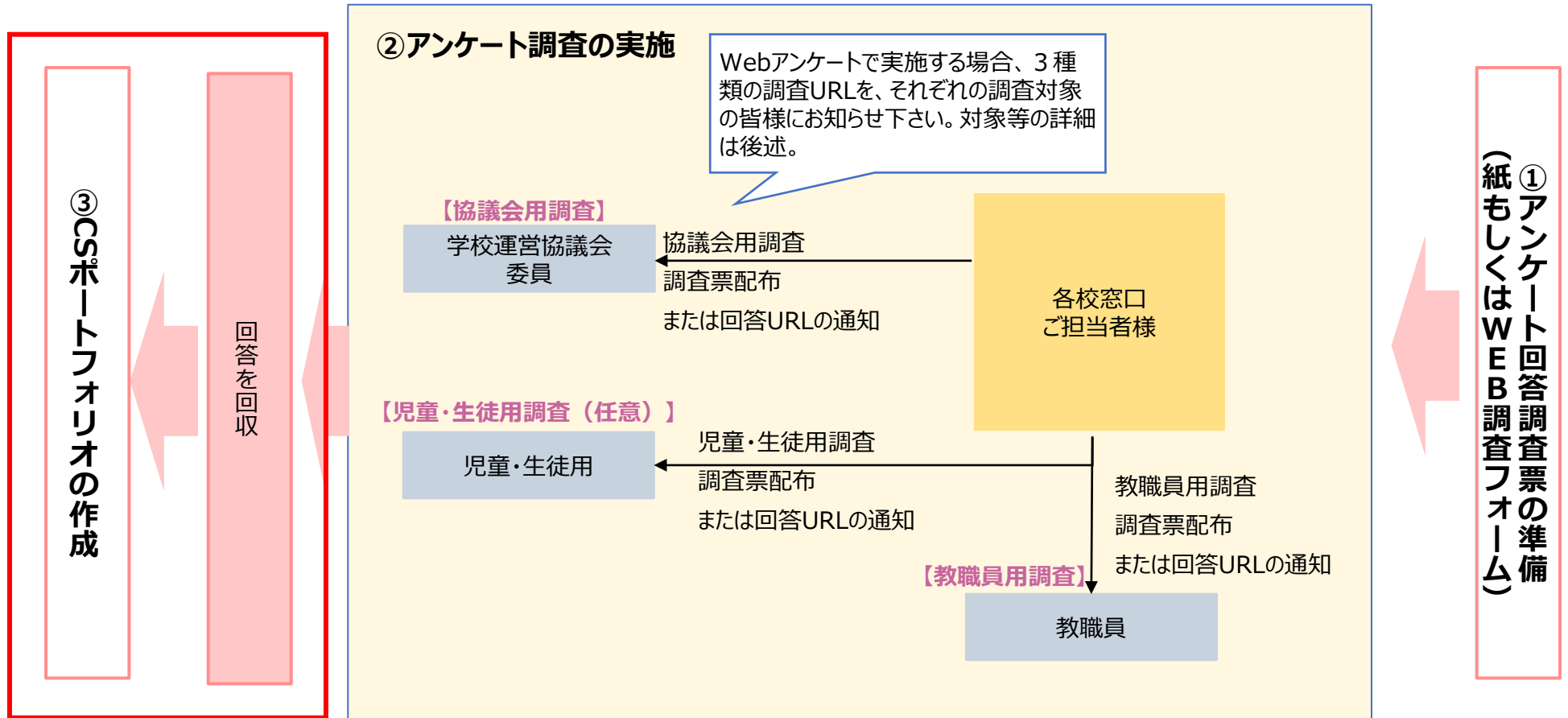




# CSポートフォリオ（標準版）作成までの全体像

## ☑ 調査票、またはwebフォームを使用したアンケート実施

→回答データをもとに、結果を見やすく表示する「CSポートフォリオ」を作成します。



### ③CSポートフォリオの作成：データ入力・貼り付け

- ✓ 各種アンケート回答結果のデータを、CSポートフォリオのデータシートに入力します。
- ✓ 調査ごとにシートが分かれていますので、データを貼り付けるシートを間違えないようにして下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	※自動計算	平均値	3.54	3.62	2.31	3.54	3.77	3.23	3.35	3.62	3.38	3.23	3.54	3.69
2		割合	100.0%	100.0%	46.2%	84.6%	100.0%	80.8%	92.3%	92.3%	92.3%	76.9%	92.3%	100.0%
3	回答番号（標準版）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	学校名	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	学校運営に関して率直な意見を述べ、協議会委員による議論を行う	学校運営に率直な意見を述べ、協議会委員による議論を行う	教職員の任用について提案や意見を述べ、それをふまえた学校運営を行っている	教職員は、協議会からの意見を重視し、それをふまえた学校運営を行っている	協議会やその他の構成メンバーにも、よい学校づくりをすすめる自覚がある	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある	議論は、特定の人の意見に左右されることのない	協議会内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある	学校運営協議会や運営について、委員全員で確認し合っている	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている	校長等、教職員の間で議論ができる体制がある
4														
5	1	A校	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
6	2	A校	4	4	3	4	4	2	3	4	4	4	4	4
7	3	A校	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8	4	A校	3	3	1	3	4	3	3	3	3	3	3	3
9	5	A校	3	4	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3
10	6	A校	3	3	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4
11	7	A校	3	3	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4
12	8	A校	3	3	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4
13	9	A校	4	4	1	4	4	3	3	4	4	4	4	4
14	10	A校	4	4	4	3	4	3	3	4	4	4	4	4
15	11	A校	4	4	2	4	3	3	3	4	4	4	4	4
16	12	A校	3	3	3	2	3	2	2	3	3	3	3	3
17	13	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4
18	14	A校	4	4	3	4	4	2	3	4	4	4	4	4
19	15	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4
20	16	A校	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3
21	17	A校	3	4	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3
22	18	A校	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
23	19	A校	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
24	20	A校	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
25	21	A校	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4
26	22	A校	4	4	2	3	4	3	3	4	4	4	4	4
27	23	A校	4	4	2	4	3	3	3	4	4	4	4	4
28	24	A校	3	3	1	2	3	2	2	3	3	3	3	3
29	25	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4
30	26	A校	4	4	1	4	4	2	3	4	4	4	4	4

CSポートフォリオファイルは、以下の5つのシートで構成されています。

- ①CSポートフォリオ
- ②【協議会】調査
- ③【教職員】調査
- ④【児童・生徒】調査
- ⑤指標対照表

赤枠で囲んでいる、②～④が回答データを貼り付けるシートです。

左の画像のように、グレー部分に質問項目が既に記入されています。

CSポートフォリオ 【協議会】調査 【教職員】調査 【児童・生徒】調査 指標対照表



### ③CSポートフォリオの作成：データ入力・貼り付け

- ✓ 各調査のデータを入力するシートの、黄色の網掛け部分にデータを入力してください。
- ✓ WEB調査フォームで回収したデータを貼りつける際は「値貼り付け」形式を使用してください。
- ✓ 質問がずれないようにご注意ください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	※自動計算	平均値	3.54	3.62	2.31	3.54	3.77	3.23	3.35	3.62	3.38	3.23	3.54	3.69
2		割合	100.0%	100.0%	46.2%	84.6%	100.0%	80.8%	92.3%	92.3%	92.3%	76.9%	92.3%	100.0%
3	回答番号（標準版）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	学校名	学校運営の 基本方針の 承認にあたり、 協議会委員による議論 を行う	学校運営に 関して率直 な意見を述べ る機会がある	教職員の任 用について提 案や意見を 述べる機会 がある	教職員は、 協議会からの 意見を重視 し、それをふま えた学校運 営を行っている	協議会やそ の構成メン バーにも、よ い学校づく りをすすめる 自覚がある	地域住民側 の意見や反 映を受ける のしる機会 もあ	子どもの意見 を反映する のしる機会 もあ	議論は、特定 の意見に よる	協議会内は、 協議会の役 割を	学校運営協 会の役割	学校、家 族	校長等、教 職員の関	
		下の黄色部分に、 回答データを貼り 付けてください												
4														
5	1	A校	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
6	2	A校	4	4	3	4	4	2	3	4	4	4	4	4
7	3	A校	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8	4	A校	3	3	1	3	4	3	3	3	3	2	3	3
9	5	A校	3	4	1	2	3	3	3	3	3	2	3	3
10	6	A校	3	3	2	4	4	4	4	4	4	3	4	4
11	7	A校	3	3	2	4	4	4	4	4	4	3	4	4
12	8	A校	3	3	2	4	4	4	4	4	4	3	4	4
13	9	A校	4	4	1	4	4	3	3	4	4	4	3	4
14	10	A校	4	4	4	3	4	3	3	4	4	4	4	4
15	11	A校	4	4	2	4	3	3	3	3	3	3	3	3
16	12	A校	3	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	3
17	13	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4
18	14	A校	4	4	3	4	4	2	3	4	4	4	4	4
19	15	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4
20	16	A校	3	3	3	3	4	3	3	3	3	2	3	3
21	17	A校	3	4	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3
22	18	A校	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4
23	19	A校	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4
24	20	A校	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4
25	21	A校	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	3	4
26	22	A校	4	4	2	3	4	3	3	4	4	4	4	4
27	23	A校	4	4	2	4	3	3	3	3	3	3	3	3
28	24	A校	4	4	1	2	2	2	2	2	2	2	2	3
29	25	A校	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
30														

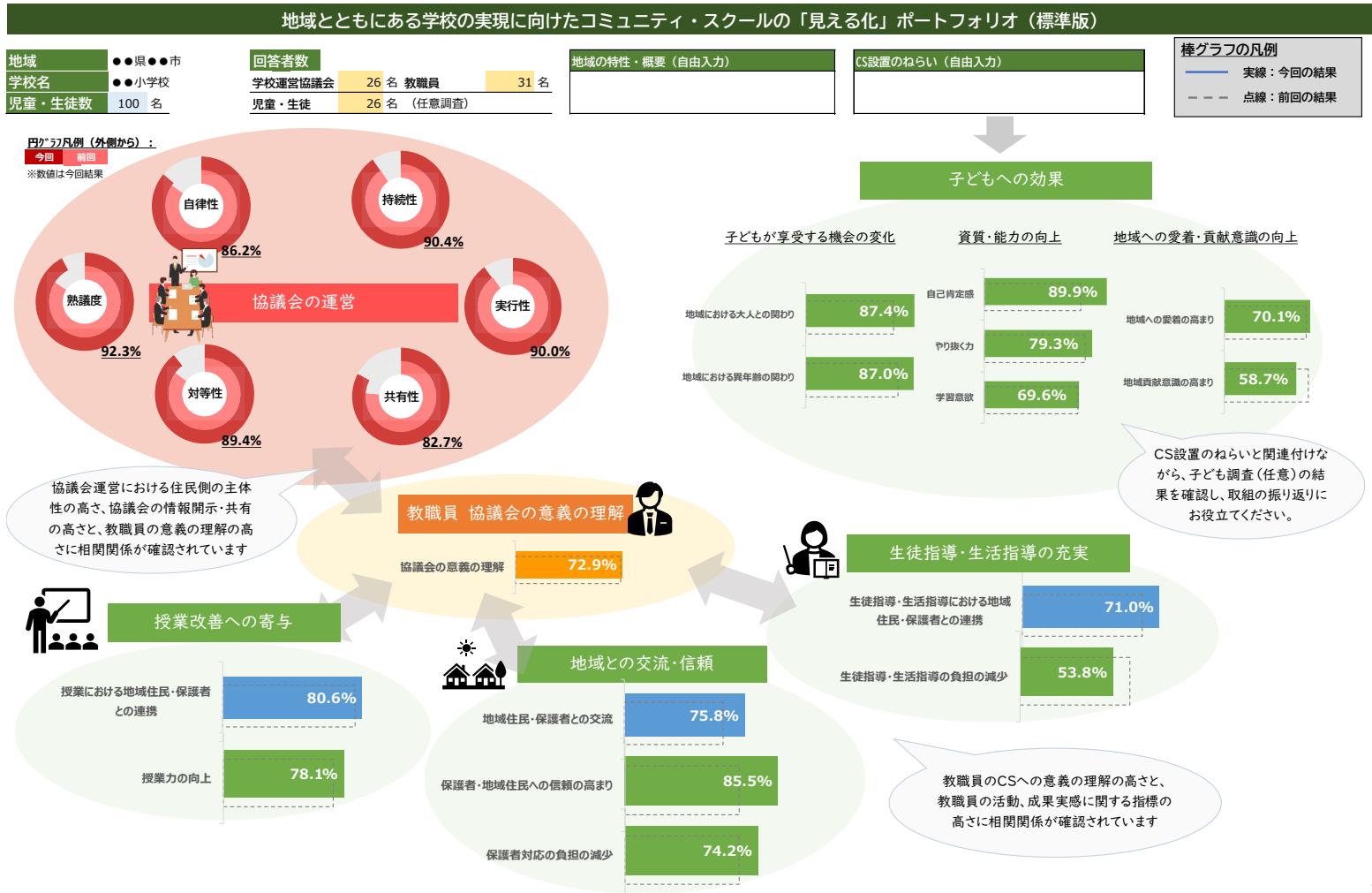
・紙の調査票で調査実施した場合、回答結果の選択肢番号を、直接こちらに記入してください。

・WEB調査フォームでデータを回収した場合、ここに質問がずれないように注意して「値貼り付け」してください

他の調査についても同様に貼り付けを行ってください。

# CSポートフォリオの自動作成

- ✓ アンケート調査結果を入力すると、**自動的に**CSポートフォリオが作成されます。
- ✓ ただし、ここまでの作業で自動的に作成されるのはの今回調査部分のみになります。前回、前々回の調査についてはその結果を直接貼りつけてください（次頁参照）。



### ③CSポートフォリオの作成：データの貼り付け

- ✓ 過去調査データを表示させたい場合、自動的に作成されませんので、CSポートフォリオに直接値を貼り付けてください。
- ✓ 過去の調査で作成したCSポートフォリオで算出された数値を「前々回」「前回」に貼り付けることで、経年比較ができるようになります。

協議会の運営【A領域】		自校の結果		結果の推移			メモ・備考欄 (結果を見ての感想・考察等)
		今回	前回比	前々回	前回	今回	
<b>自律性</b>		割合(%)	差(pt)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	推移のグラフ 割合(%)の推移
Q2	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	100.0%	1.4pt	84.8%	84.8%	86.2%	
Q3	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある	100.0%	4.7pt	94.5%	95.3%	100.0%	
Q4	教職員の任用について提案や意見が述べられる機会がある	46.2%	1.3pt	44.9%	44.9%	46.2%	
Q5	教職員は、協議会からの意見を重視し、それをふまえて学校運営を行っている	84.6%	-6.1pt	90.7%	90.7%	84.6%	
Q6	協議会やその構成メンバーにも、よりよい学校づくりをすすめる自覚がある	100.0%	1.5pt	98.5%	98.5%	100.0%	
<b>対等性</b>		89.4%	4.4pt	85.0%	85.0%	89.4%	対等性
Q7	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある	80.8%	-1.4pt	82.2%	82.2%	80.8%	
Q8	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある	92.3%	18.0pt	74.3%	74.3%	92.3%	
Q9	議論は、特定の人の意見に左右されることはない	92.3%	4.0pt	88.3%	88.3%	92.3%	
Q10	協議会内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある	92.3%	-2.7pt	95.0%	95.0%	92.3%	
<b>持続性</b>		90.4%	-0.1pt	90.5%	90.5%	90.4%	持続性
Q11	学校運営協議会の役割や運営について、委員全員で議論/合している	76.9%	-13.5pt	90.4%	90.4%	76.9%	
Q12	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている	92.3%	1.3pt	91.0%	91.0%	92.3%	
Q13	校長等、教職員の負担に関わらず、継続して議論ができる体制がある	100.0%	7.3pt	92.7%	92.7%	100.0%	
Q14	学校運営協議会の運営方針・方法において、振り返り・見直しを行う機会がある	92.3%	4.3pt	88.0%	88.0%	92.3%	
<b>熟慮性</b>							
Q15	協議会で決まらすべき課題の調査、議論の企画段階から関わることがある						
Q16	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある						
Q17	当初の議論が、議論によって変更/改善されることがある						
Q18	協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある						
Q19	学校評価などの各種の評価結果を活かした改善について、議論が行われている	92.3%	3.1pt	89.2%	89.2%	92.3%	
<b>実行性</b>		90.0%	-0.5pt	90.5%	90.5%	90.0%	実行性
Q20	学校長の主導で、協議会の内容が有意義になったと感じることがある	73.1%	-12.9pt	86.0%	86.0%	73.1%	
Q21	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている	92.3%	-3.6pt	95.9%	95.9%	92.3%	
Q22	議論の結果、各主体（学校・保護者・地域の大人等）が実行すべきこと・役割分担が明確になっている	84.6%	-1.1pt	85.7%	85.7%	84.6%	
Q23	協議会で決まらした活動に自ら参加したり、活動の一部を担当している	100.0%	7.9pt	92.1%	92.1%	100.0%	
Q24	協議された事項の実行にあたり、教職員は期待される役割を果たしている	100.0%	7.3pt	92.7%	92.7%	100.0%	
<b>共有性</b>		82.7%	6.2pt	76.5%	76.5%	82.7%	共有性
Q25	地域住民や保護者は、誰が協議会委員になっているか知っている	76.9%	25.9pt	51.0%	51.0%	76.9%	
Q26	学校教育目標や学校運営の基本方針が協議しやすい形で共有されており、内容は理解している	100.0%	7.9pt	92.1%	92.1%	100.0%	
Q27	学校の課題や悩みは、協議会委員の中で共有されている	69.2%	-12.7pt	81.9%	81.9%	69.2%	
Q28	協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている	84.6%	3.6pt	81.0%	81.0%	84.6%	

赤の網掛け部分は、ローデータシートへの入力によって自動的に算出されますが、黄色の枠線部分には、別途データの直接貼り付けが必要です。黄色の網掛け部分のグラフは、黄色の枠線部分に数値を貼り付けると、自動的に作成されます。

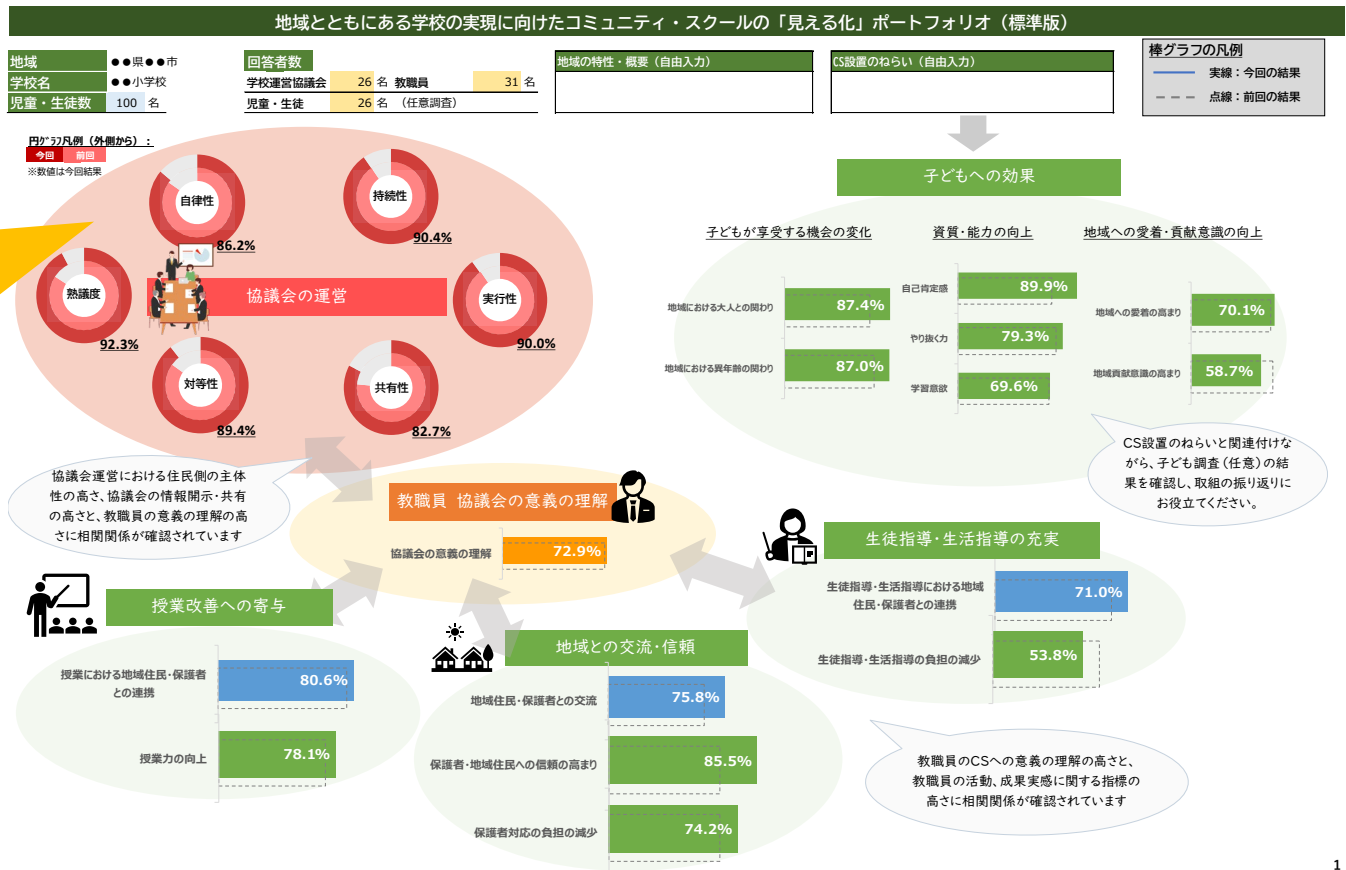


# CSポートフォリオの完成



# CSポートフォリオの構造：総括表

- ✓ CSポートフォリオの1ページ目は総括表となっており、**全体傾向**を把握できます。
- ✓ 表示されているパーセンテージは、各質問（指標）についてアンケートで**肯定的な回答をした者の割合**です。  
 (例：「4.あてはまる」「3.どちらかといえばあてはまる」「2.どちらかといえばあてはまらない」「1.あてはまらない」の4択のうち、肯定的回答である「4」「3」を選択肢した者の割合)
- ✓ 総括表では、個別の質問（指標）への回答ではなく、いくつかの指標をまとめた概念ごとの結果が示されています。



例えば、この「自律性」は、5つの指標をまとめた1つの概念となっています。



# CSポートフォリオの読み取り方：総括表

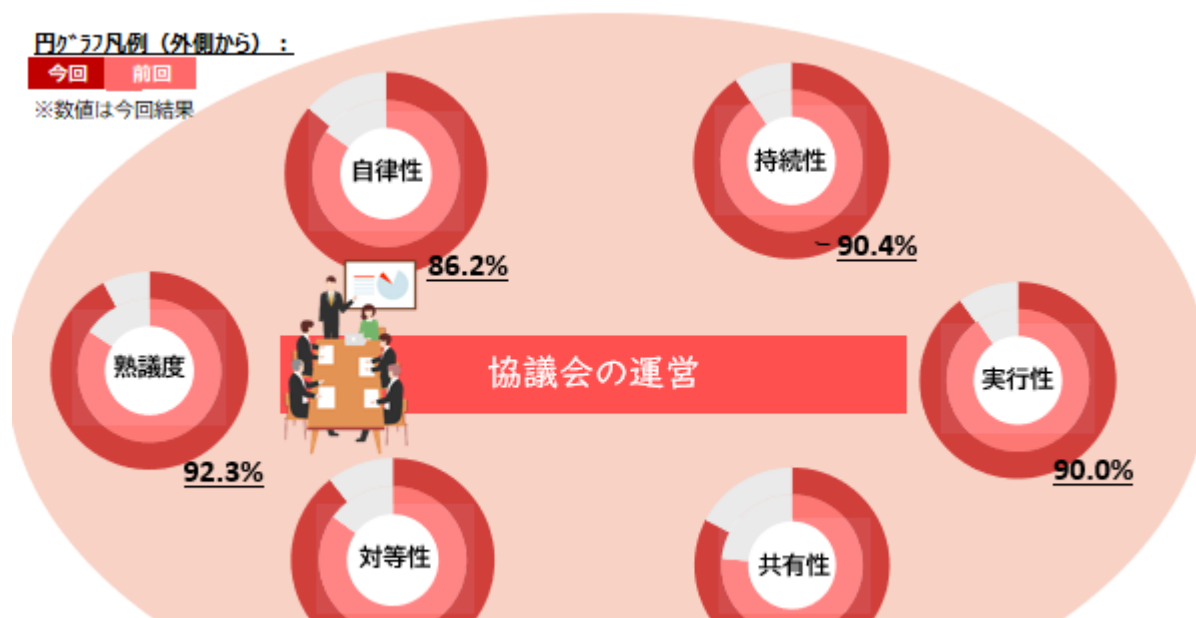
## 【協議会の運営】

- ✓ 協議会委員へのアンケート結果をグラフ化しています。
- ✓ 協議会運営の状態について、重要だと考えられる6つの要素ごとに表示されます。

円グラフ凡例（外側から）：

今回 前回

※数値は今回結果



外側の濃い赤 : 今回調査の結果  
真ん中の少し薄い赤 : 前回調査の結果

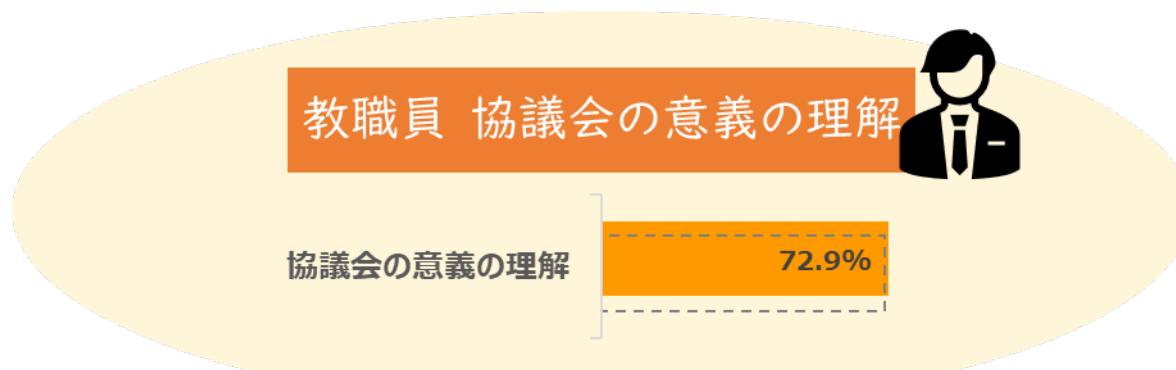




# CSポートフォリオの読み取り方：総括表

## 【教職員の協議会の意義の理解】

- ✓ 教職員へのアンケート結果のうち、「協議会の意義の理解」に関する指標をグラフ化しています。
- ✓ 協議会運営における住民側の主体性の高さ、協議会の情報開示・共有の高さと、教職員の意義の理解の高さに相関関係が確認されています。



**オレンジの棒グラフ：教職員の意識に関する、自校の今回調査の結果**

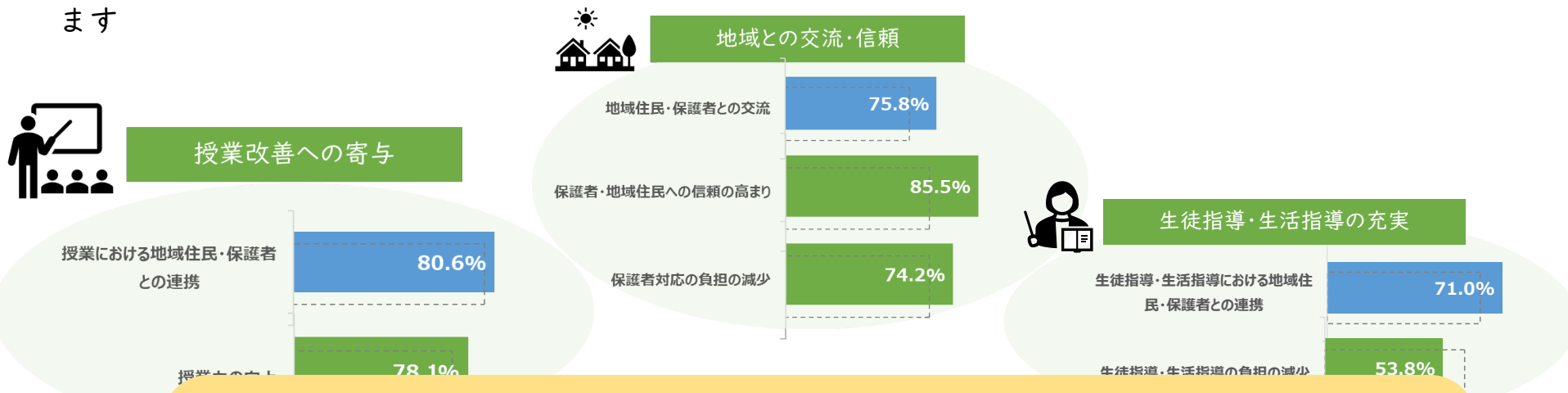
**破線の棒グラフ：自校の前回調査の結果**



# CSポートフォリオの読み取り方：総括表

## 【教職員への効果】

- ✓ 教職員へのアンケート結果のうち、「教職員への効果」に関する指標をグラフ化しています。
- ✓ 教職員への効果として、「授業改善への寄与」「地域との交流・信頼」「生徒指導・生活指導の充実」の3つを取り上げています。
- ✓ 教職員のCSへの意義の理解の高さと、教職員の活動、成果実感に関する指標の高さに相関関係が確認されています



青の棒グラフ：教職員の活動に関する、自校の今回調査の結果

緑の棒グラフ：教職員の効果実感に関する、自校の今回調査の結果

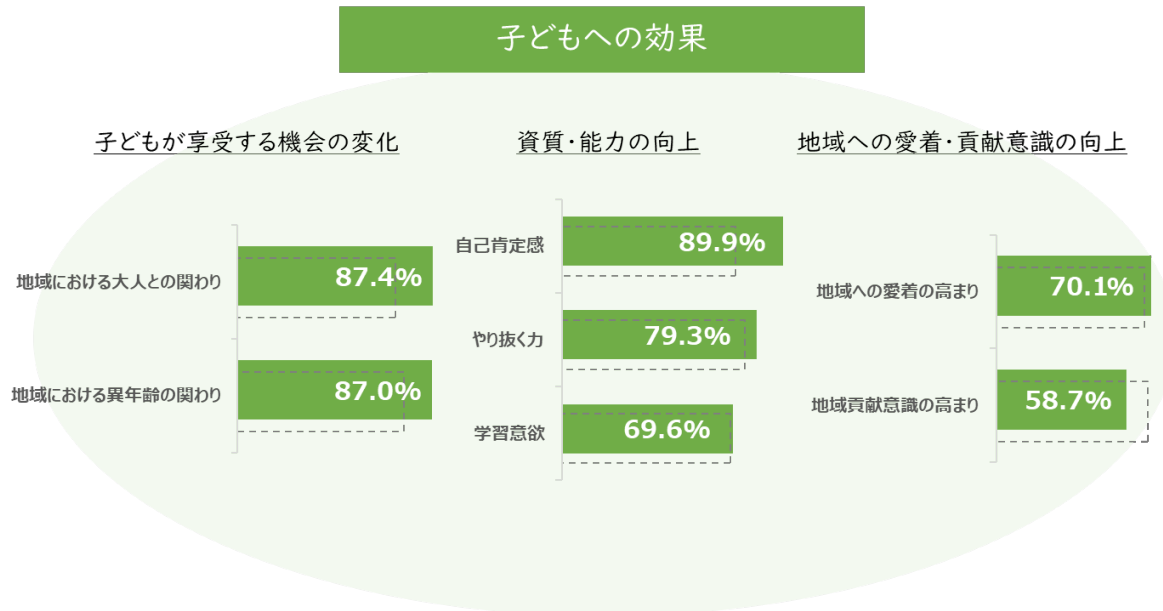
破線の棒グラフ：自校の前回調査の結果



# CSポートフォリオの読み取り方：総括表

## 【子どもへの効果】

- ✓ 児童・生徒へのアンケート結果をグラフ化しています。
- ✓ 子どもへの効果として、資質・能力への影響等が表示されます。



**緑の棒グラフ：自校の今回調査の結果**

**破線の棒グラフ：自校の前回調査の結果**



# CSポートフォリオの構造と読み取り方：詳細表

✓ CSポートフォリオの2ページ以降では、アンケート設問ごとの詳細な回答結果をお示ししています。

協議会の運営【A領域】		自校の結果		結果の推移			メモ・備考欄 (結果を見ての感想・考察等)
		今回	前回は	前々回	前回	今回	
<b>自律性</b>		割合(%)	差(pt)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	自律性 割合(%)の推移
設 2	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	86.2%	1.4pt	84.8%	84.8%	86.2%	
設 3	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある	100.0%	4.7pt	95.3%	95.3%	100.0%	
<b>設問ごとの詳しい回答結果（2ページ目以降）</b> ・冒頭のグラフから気になった点は、2ページ目以降、アンケート設問ごとの回答結果一覧を参照することで、より詳しく、各項目・各主体の実態を把握することができます		46.2%	1.3pt	44.9%	44.9%	46.2%	
		84.6%	-6.1pt	90.7%	90.7%	84.6%	
		100.0%	1.5pt	98.5%	98.5%	100.0%	
		89.4%	4.4pt	85.0%	85.0%	89.4%	
		80.8%	-1.4pt	82.2%	82.2%	80.8%	
		92.3%	18.0pt	74.3%	74.3%	92.3%	
		92.3%	4.0pt	88.3%	88.3%	92.3%	
		92.3%	-2.7pt	95.0%	95.0%	92.3%	
		90.4%	-0.1pt	90.5%	90.5%	90.4%	
		76.9%	-13.5pt	90.4%	90.4%	76.9%	
92.3%	1.3pt	91.0%	91.0%	92.3%			
100.0%	7.3pt	92.7%	92.7%	100.0%			
92.3%	4.3pt	88.0%	88.0%	92.3%			
92.3%	8.1pt	84.2%	84.2%	92.3%			
設 15	協議会で議論すべき課題の選定、議論の企業持論から異なることがある	84.6%	11.4pt	73.2%	73.2%	84.6%	
設 16	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある	92.3%	-1.6pt	93.9%	93.9%	92.3%	
設 17	当初の議論が、議論によって変更・改善されることがある	100.0%	20.7pt	79.3%	79.3%	100.0%	
設 18	協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある	92.3%	6.9pt	85.4%	85.4%	92.3%	
設 19	学校評価などの各種の評価結果を活かした改善について、議論が行われている	92.3%	3.1pt	89.2%	89.2%	92.3%	
<b>実行性</b>		90.0%	-0.5pt	90.5%	90.5%	90.0%	実行性
設 20	学校長の主導で、協議会の内容が有意義になったと感じることがある	73.1%	-12.9pt	86.0%	86.0%	73.1%	
設 21	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている	92.3%	-3.6pt	95.9%	95.9%	92.3%	
設 22	議論の経緯、各主体（学校・保護者・地域の大人等）が実行すべきこと・役割分担が明確になっている	84.6%	-1.1pt	85.7%	85.7%	84.6%	
設 23	協議会で議論した活動に自ら参加したり、活動の一部を担ったりすることがある	100.0%	7.9pt	92.1%	92.1%	100.0%	
設 24	協議された事項の実行にあたり、教職員は期待される役割を果たしている	100.0%	7.3pt	92.7%	92.7%	100.0%	
<b>共有性</b>		82.7%	6.2pt	76.5%	76.5%	82.7%	共有性
設 25	地域住民や保護者は、誰が協議会委員になっているか知っている	76.9%	25.9pt	51.0%	51.0%	76.9%	
設 26	学校教育目標や学校運営の基本方針が簡潔・やさしい形で共有されており、内容は理解している	100.0%	7.9pt	92.1%	92.1%	100.0%	
設 27	学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている	69.2%	-12.7pt	81.9%	81.9%	69.2%	
設 28	協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている	84.6%	3.6pt	81.0%	81.0%	84.6%	

※初めてCSポートフォリオを作成した学校の場合、自校前回・前々回データがありませんので、該当箇所は表示されません。

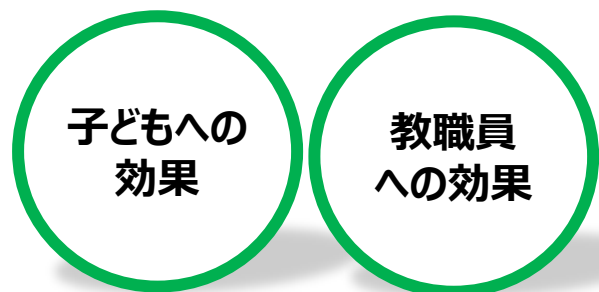


# 結果の読み取り方



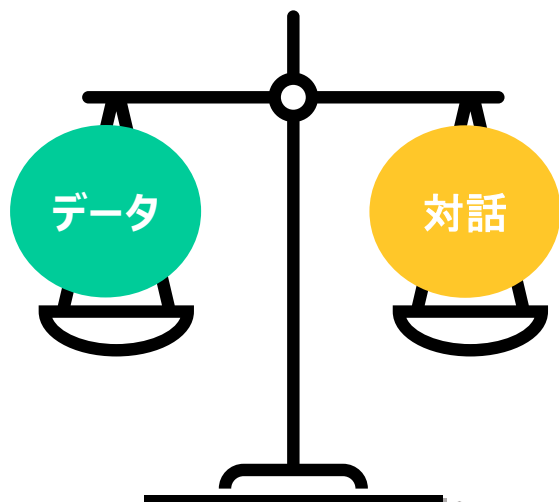
# 評価結果を読み解く視点

## 1. 注目したい**指標**を選択する



- すべての指標で改善・100%を目指さなくてよい。
- 自校で目指す目標、大切にしていることに近い指標はどれか？

## 2. **実感**と結び付けて考える

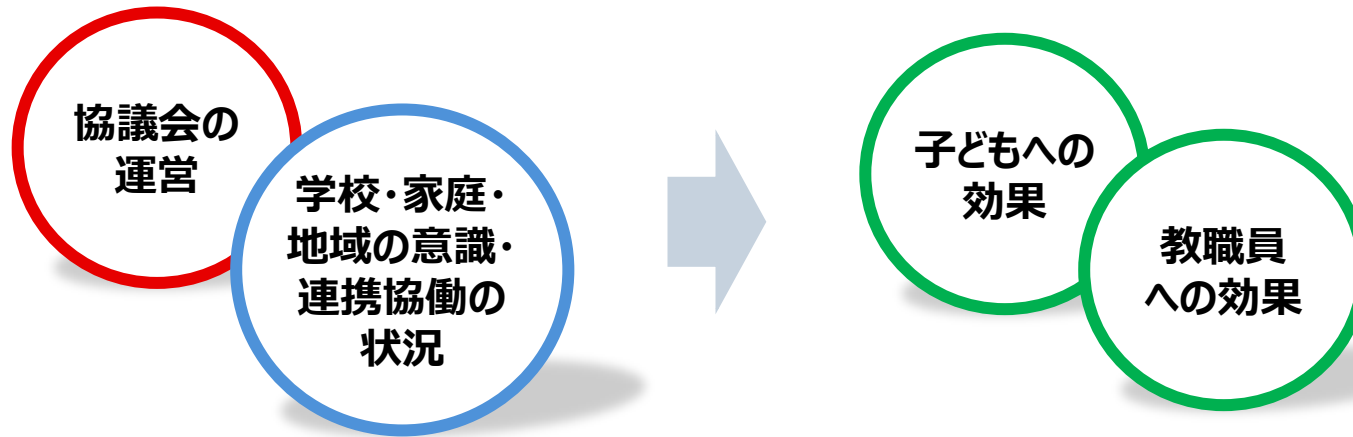


- 数値を「結果」として単に受け入れるだけではもったいない。
- なぜその結果が出ているのか？などを実際の取組や現場の実感と結び付けて解釈する



## 評価結果を読み解く視点

### 3. 組織運営や関係者の意識・活動の状態との繋がりを捉える



関連性は？  
成果の出やすい組織や関係者の在り方になっているか？



## 【補足】CSポートフォリオの留意点

✓ 調査結果の読み取りにおいては、以下の点に留意が必要です。

★学校運営協議会の委員、対象学年の児童・生徒、教職員の調査において、未回答者がいる場合は母集団の回答と誤差が発生することになります。

(例えば、100人の学年で許容誤差5%とするには80人の回答が必要です。)

★経年変化をみる場合、調査対象自体が変化している（例えば、西暦n年の6年生を対象とした後に、西暦n+1年の6年生を対象として変化をみる場合、母集団となる児童自体が異なる）ことを踏まえて回答結果を読み取る必要があります。





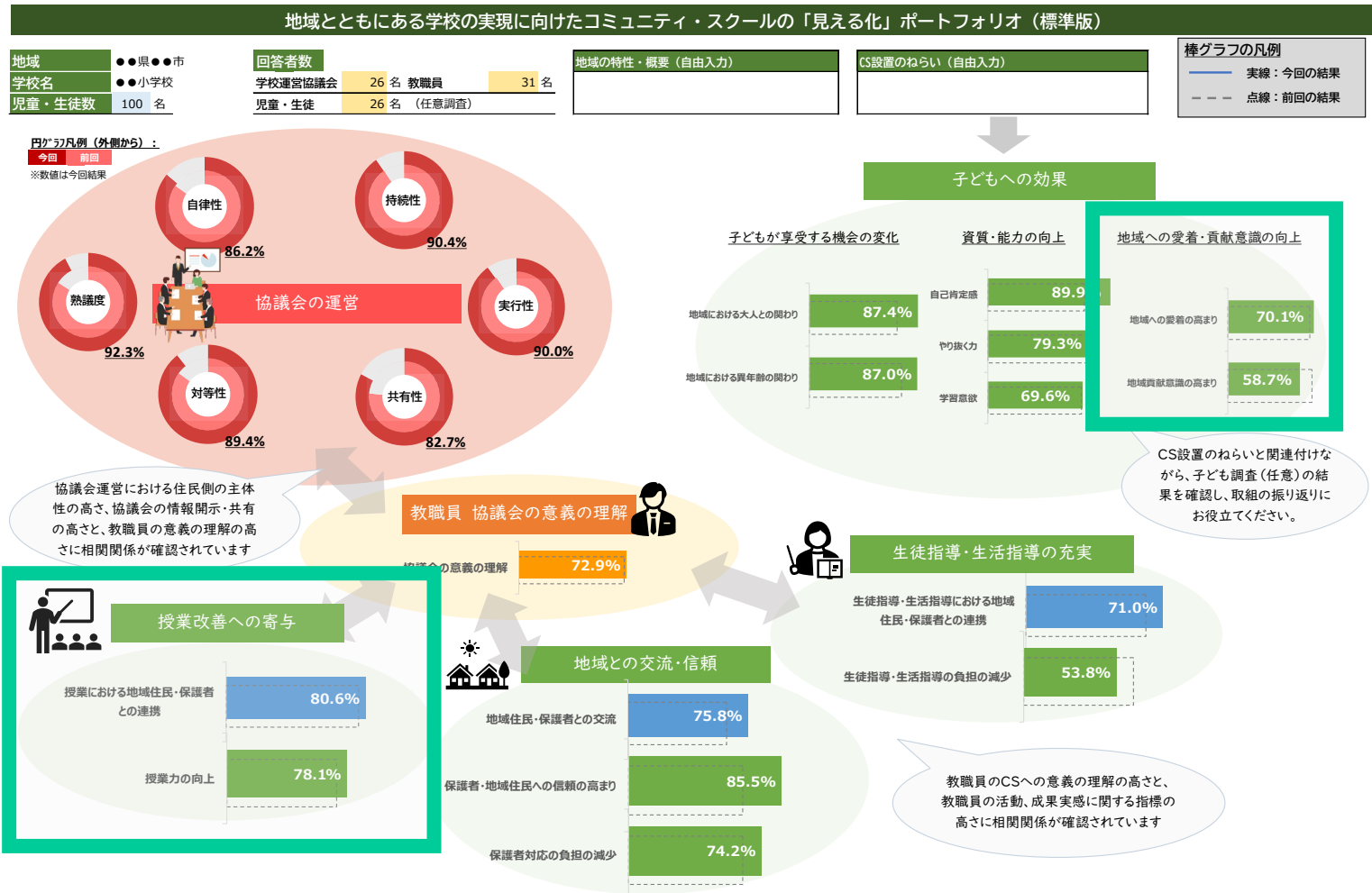
# 読み取りのワーク①



# CSの目標に沿って指標を抽出する

## ◆ 注目したい指標を抽出する

- ✓ CSポートフォリオには多くの指標が含まれていますが、すべての指標で100%を目指す必要はありません。
- ✓ まずは、成果指標の中から、自校で目指す目標、大切にしていることに近い指標を抽出することが重要です。



# ワーク1：CSで期待する成果とは？

CSポートフォリオ1ページ目総括表の  
緑色の部分を中心に検討。

→詳細の指標は3～4ページ

## ワーク1-1（想定所要時間5分）

- あなたが関わる学校や地域では、CSを導入することで、どのような成果を期待していますか（どのような目標を掲げていますか）？それを踏まえて、CSポートフォリオのCSの成果に関する指標を見たときに、特に着目したい指標はありますか？

（例：「児童・生徒の地域への愛着を高めたいと思っている。それに関連する指標は……。」など）



# ワーク1：CSで期待する成果とは？

## ワーク1-2（想定所要時間5分）

- 選択した指標について、次の観点から、結果の振り返りを行ってみましょう。また、2～3人で、結果を見て気づいた点を共有してみてください。

観点①：肯定的回答の「割合（％）」は、あなたにとって、「高い」と感じますか？「低い」と感じますか？

観点②：その「割合（％）」を、あなたはどこまで「高めたい」と感じますか？

観点③：「前回調査との差」や「他地域との差」（プラスなら自校・今回が高い）はどうですか？

（例：「教職員の授業力の向上を重要な指標だと考えているが、意外と%が低い（前回調査から伸びていない）」など）



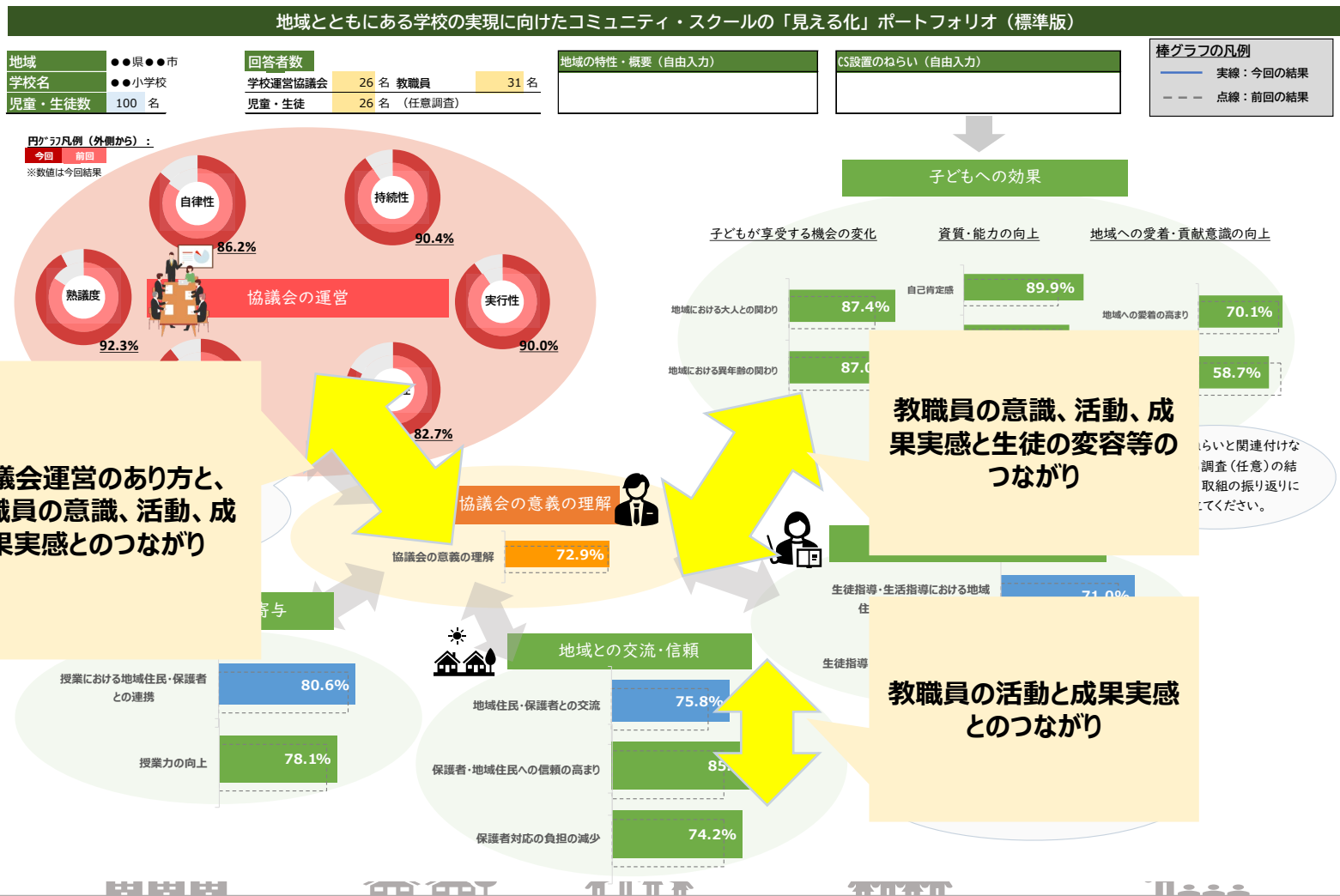
## 読み取りのワーク②



# 各要素のつながりを考えてみる

## ◆ 成果と、組織運営や関係者の意識・活動の状態とのつながりを捉える

- ✓ 成果発現までの要素間は、相互に関係することが検証されています。
- ✓ 「CSポートフォリオ」の深い読み取りのためには、要素間の「つながり」を考えることが有効です。



## ワーク2：つながりの読み取り（関係者の意識・活動）

### ワーク2-1（想定所要時間10分）

- ワーク1で考えたCSの成果（目標）をふまえ、CSポートフォリオの「教職員の意識・行動」に関する指標を見たときに、関連する指標はありますか？

指標にないもの以外でも、ご自身の立場から思いつくものがあれば挙げてみてください。

（例：「子どもの地域への理解を深めるために、地域住民の授業への参画を積極的に行っているはずだ。それに関連する指標は…」など）

## ワーク2：つながりの読み取り（関係者の意識・活動）

### ワーク2-2（想定所要時間5分）

- 選択した指標について、次の観点から、結果の振り返りを行ってみましょう。また、2～3人で、結果を見て気づいた点を共有してみてください。

観点①：肯定的回答の「割合（％）」は、あなたにとって、「高い」と感じますか？「低い」と感じますか？

観点②：その「割合（％）」を、あなたはどこまで「高めたい」と感じますか？

観点③：「前回調査との差」や「他地域との差」（プラスなら自校・今回が高い）はどうですか？

（例：「地域と協働した授業づくりを進めているつもりだったが、意外と関連する指標の％が低い（前回調査から伸びていない）」など）





## ワーク3：つながりの読み取り（協議会運営）

### ワーク3（想定所要時間10分）

- CSポートフォリオの「協議会の運営」に関する指標を見たときに、気になる項目・数値はありますか。
- その数値と関連しそうな、「教職員の意識・活動の状況」や「子どもへの効果」「大人への効果」に関する指標はありますか？

（例：「共有性の指標の%が全体的に低い。これが、教職員や地域・保護者の意識が伸び悩んでいるのとの関係があるのではないか。」など）



おわりに



## 評価結果を「次の一手」に繋げる

- ☑ 評価は実施して終わりではなく、評価結果をもとに、「次の一手（取組の改善）」につなげることが重要です
- ☑ 是非、各校の関係者の皆様で結果を共有し、「次の一手」を検討するための手掛かりとしていただければと思います
- ☑ 「次の一手」は一人で作り上げることはできません。関係者の皆さんで対話をしながら、考えてみてください！



CSポートフォリオを、各校・地域のCS運営  
に役立てていただくと幸いです。

